

## 提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案件名 : 西播磨地域ビジョン 2050  
 意見募集期間 : 令和4年1月17日～令和4年1月31日まで  
 意見等の提出件数 : 9件 (8人)

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
ビジョン全般	地球温暖化による環境変化やコロナ禍による働き方の変化など、社会情勢の変化を意識したビジョンとなっているか。	1	<b>【既に盛り込み済】</b> 環境保全や資源循環の取組、ICT等科学技術の有効活用など、西播磨を取り巻く環境変化や社会潮流、地域の課題を踏まえながら、県民意見をもとに新しい地域ビジョン案を取りまとめています。
ビジョンの推進	地域ビジョンは地域づくりを進めていくための大きな方向性を示し、それに沿った取り組みをいかに住民一人ひとりが展開していけるかが重要である。	1	<b>【推進上の課題】</b> 県民からの意見・提案等を踏まえ、地域住民や関係団体、事業者、行政等多様な主体の取組の指針となるよう地域ビジョンの取りまとめを行ってきたところです。このビジョンを多様な主体が共有し、将来像の実現に向け共に考え協力して取り組んでいくことが大切であると考えています。このため、一人でも多くの方に地域ビジョンの普及を図り、より多くの方がビジョン実現に向けた取り組みに関われるよう努めてまいります。
IV 西播磨地域の将来像と取組目標	(本文 39 ページ) 農林水産物の地産地消にあたっては、地域外消費の推進の視点も大切である。	1	<b>【既に盛り込み済】</b> 農林水産物の魅力をいっそう高めていくことが、地産地消だけでなく地域外消費の拡大にもつながると考えます。このため、地域ビジョンの中でこうした取り組みを推進することの必要性について取りまとめているところです。(取組目標8の「地域の特徴を活かした産業の成長」、取組目標10の「他圏域との資源循環の促進」)
IV 西播磨地域の将来像と取組目標	(本文 50 ページ) 県民による取組例で、「在宅医療を地域ぐるみで支える環境をつくる」とは、具体的にどのような取組みが想定されるのか。 また、在宅医療に取り組んでいる診療所が周囲にあまり見当たらないが、西播磨の在宅医療に取り組んでいる診療所数は、他の地域と比較して少ないのか。	1	<b>【その他】</b> 在宅医療を地域で支える環境づくりの取組例としては、訪問診療等在宅医療サービス提供体制の充実、在宅医療を担う人材育成、患者・家族への支援を行う団体の参画促進などが考えられます。 また、2018年の厚生労働省の統計数値によると、西播磨地域の診療所又は病院に占める訪問診療を提供している割合は、診療所36%(全県30%)、病院63%(全県42%)で、それぞれ全県の割合を上回っている状況です。

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
IV 西播磨地域の将来像と取組目標	行政区域を越えた広域での地域づくりの重要性が高まっていると感じているが、観光、産業、生活、文化など様々な分野での多様な県際交流を進めていくべきでないか。	1	【ご意見を反映】 29 ページの取組の方向性に、「また、西播磨地域の特性を活かし、県境を接する岡山県や鳥取県との様々な分野での交流や連携を深め、互いの魅力を高め合い、地域の活性化につなげよう。」と追記しました。
IV 西播磨地域の将来像と取組目標	(本文 36、42 ページ) ビジョンは、様々な課題解決に向け、一人ひとりが行動していくことが肝と思う。取組目標 8 と 11 に、個人で出来ることを記載すべきでないか。	1	【ご意見を反映】 36、42 ページに県民による取組例として、以下のとおり追記しました。 ・起業などチャレンジする人を積極的に応援する。 ・農林水産業者や地元企業の魅力を広く情報発信する。 ・空き店舗や耕作放棄地を起業希望者へ提供する。 ・地域づくり活動に積極的に参加する。 ・空き家や耕作放棄地を地域の取り組みに提供する。
ビジョンのフォローアップ	策定して終わりではなく、地域ビジョンの推進状況をしっかりフォローアップしていくことが大切である。	1	【今後の検討課題】 地域ビジョンの策定のみにとどまらず、地域ビジョンの実現に向けた推進状況について、毎年点検評価する仕組みが必要であると考えています。このため、具体の点検方法について検討し、毎年度フォローアップしていく予定です。

以上の他、単なる賛否のみの表明が 1 件、ビジョン案に関連のない意見が 1 件あった。